

はしがき	i
第1章 風力発電所建設の動向と研究課題	1
1. はじめに	1
2. 風力発電の導入状況と社会科学研究的課題	1
2.1 風力発電の導入状況	1
2.2 風力発電に関する社会科学研究的課題	4
3. 本書の構成	7
4. 本書の位置づけおよび各章の相互関連	11
第2章 自治体所有の大型風力発電所の経営状態	14
1. はじめに	14
2. 風力発電所建設地点の概要及び設置された大型風車と風について	16
2.1 発電実績	16
2.2 風力発電所設置によって削減されたCO ₂ 量について	20
3. 各風力発電所の財務分析	21
3.1 風力発電所の特別会計	21
3.2 自治体風力発電所の財務と負債—苫前町の場合—	22
3.3 風力発電のキャッシュ・フロー	24
3.4 キャッシュ・フロー試算	25
3.5 負債償還と発電能力の関係	26
4. 損益分岐点分析	28
4.1 建設補助金を収入と考える場合の損益分岐点	28
4.2 上積み売電価格を求めるシミュレーション	32
5. 結論	33
第3章 日本の再生可能エネルギー促進策と風力発電の動向	39
1. はじめに	39
2. RPS と FIT	40
2.1 ドイツのFITs (Feed-In Tariffs)	41

2.2	デンマークの再生可能エネルギー促進策	42
2.3	日本のRPS制度	42
2.4	制度の相違点	43
3.	RPS制度と風力発電の導入状況	46
3.1	導入目標量	46
3.2	基準利用量・バンキング	48
3.3	取引(売電)価格	49
3.4	導入量の推移	51
4.	大型ウインド・ファームのキャッシュ・フローと損益分岐点分析モデル	56
4.1	分析モデル	56
4.2	北栄町風力発電所	58
4.3	八竜風力発電所	59
4.4	江津風力発電所	61
4.5	デンマーク市民風車との比較(Middlegrundten 洋上風力発電所)	62
4.6	ドイツ自治体系風力発電との比較(Wind Park Wybelsumer Polder: WWP)	65
5.	結論	66
第4章 ツーリズム資源としての風力発電		69
1.	はじめに	69
2.	風力発電所立地地域のツーリズム効果	71
2.1	キララ・トゥーリ・マキ風力発電所(旧多伎町, 現・島根県出雲市)	71
2.2	うみてらす名立風力発電所(旧名立町, 現・新潟県上越市)	73
2.3	夕陽ヶ丘風力発電所(北海道苫前町)	75
2.4	田原市風力発電所	77
2.5	椿ヶ鼻ハイランドパーク風力発電所	78
3.	風力発電所のツーリズム価値の比較	79
4.	風力発電の感性評価	81
4.1	風力発電の感性評価の決定因子	81
4.2	風力発電と「ゆらぎ」	82

- 4.3 風力発電の文化・芸術性 83
- 5. 結論と若干の議論 86

第5章 風力発電と電力の自給 91

- 1. はじめに 91
- 2. 自家発電の意義 92
- 3. 風力発電と自家発電 94
 - 3.1 上ノ国町風力発電所（漁業） 94
 - 3.2 JFはさき風力発電所（漁業） 98
 - 3.3 うみてらす名立風力発電所（漁業・観光） 100
 - 3.4 椿ヶ鼻ハイランドパーク風力発電所（観光） 102
 - 3.5 宮古島地下ダム風力発電所（かんがい農業） 103
 - 3.6 福島県中山峠風力発電所（道路） 105
- 4. 電力供給率の比較 106
- 5. 結論と若干の議論 108

第6章 導入期・静岡の風力発電 111

- 1. はじめに 111
- 2. 静岡県1号機の生産力 114
- 3. 電力のプロサンクション 119
- 4. 発電施設の経済パフォーマンス 120
- 5. 風力発電の大型化とウインド・ファームへ 122
- 6. 結論 124

第7章 分析結果の総合化と展望 126

- 1. 分析結果の総合 126
- 2. 展望 130
 - 2.1 再生可能エネルギー経済 130
 - 2.2 電力プロサンクションとプロシューマー 133
 - 2.3 地方自治体・地域の役割 137

補論 風力発電の社会科学的研究の背景	140
1. 再生可能エネルギーと風力発電	140
2. 風力発電の政策	145
2.1 政策	145
2.2 プランニング（ソーシャル・アクセプタンス）	148
2.3 フィージビリティ・スタディ	150
2.4 景観・環境	152
3. 風力発電の経済・経営分析（マーケティング、O&M・電力市場）	155
3.1 経済分析	155
3.2 財務（ファイナンス）分析	162
4. 風力発電と地域経済（ツーリズム・景観）	164
あとがき	169
文献・論文	171